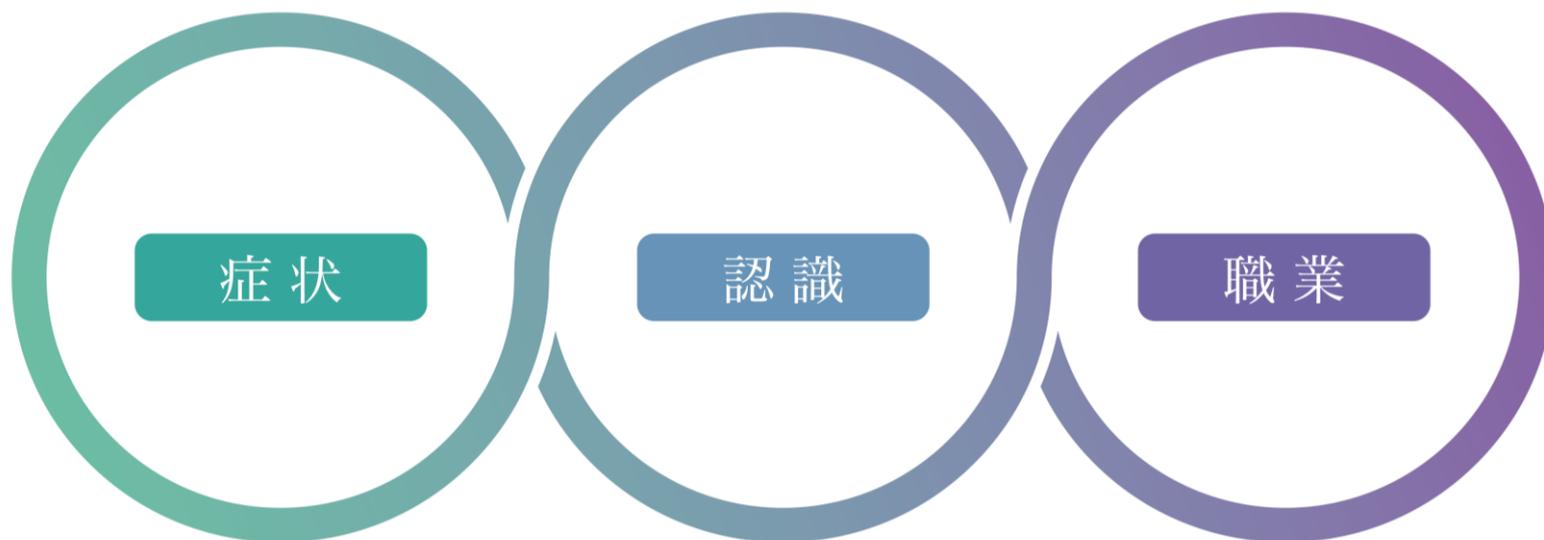


超短時間ワークの導入について

メディカル・ケア・サービス

愛の家グループホーム エリアマネージャー 森 悠弥

認知症を取り巻く、 あらゆる社会環境を変革する



予防・改善・緩和の分野において、
顧客本位のサービスを提供する

認知症に対する認識を変え、
新たな社会受容をつくる

介護職の存在価値を高め、
生涯働き続けられる専門職にする

【アジェンダ】

1. 市内介護現場の状況について
2. 愛の家グループホームでの実践例
3. 効果検証
4. 考察

1. 市内介護現場の状況

有効求人倍率状況		
全国平均	全職種	1.32
	介護職関連	3.44
岐阜県	全職種	1.58
	介護職関連	5.70
岐阜市	全職種	1.70
	介護職関連	5.27

- ・ 介護人材の確保が非常に困難な状況
全職種に比べ、3~4倍の有効求人倍率全国47都道府県で毎月TOP5に入る程高い
- ・ 現場の負担増加によるケア品質の低下が懸念されている。

○その他採用困難な要因

- ・ 愛知県への人材流出 岐阜駅~名古屋まで20分 平均賃金の高い愛知県へ人材が流出している
 - ・ 岐阜県→愛知県への通勤・通学者約10万9千人 愛知県から岐阜県内へは4万5千人と6万4千人の差
- 介護現場での人員不足解消が急務（介護労働力の確保）

1. 市内介護現場の状況

介護現場（認知症グループホーム）での業務は直接的にご利用者に関わる業務とそれ以外の間接業務で成り立っている

- ・介護業務

食事介助 排泄介助 入浴介助 服薬介助 散歩付き添い 就寝介助

※要介護度や認知症の症状により介助が必要な頻度、時間に差は生じるが、最低限行動の把握や見守りが必要

- ・間接業務

炊事 洗濯 掃除 その他事務処理や記録作成等。さらにコロナ発生後は消毒業務等が増加している。

ご利用者と一緒に実施出来る部分も有るが、基本的にスタッフが行う必要がある介護以外の業務

愛の家グループホームでは10年程前から障がいの有る方に清掃業務等、間接業務を行ってもらう形の雇用を行ってきました

2. 愛の家グループホームでの実践例

① 間接業務の洗い出し

直接ご利用者に関わる業務とそれ以外の業務を精査し細分化 依頼する業務を切り出した

② 業務内容と対象者のマッチング

依頼したい間接業務の内容にマッチする対象者の相談

③ 業務指導と実践

実際の現場業務の指導と実践

2. 愛の家グループホームでの実践例

	ご利用者の生活	早勤	遅勤	夜勤
4:00				巡回
6:00		【夜勤者より申し送り】		起床介助・口腔ケア 、 【早勤へ申し送り】
7:00	起床・朝食	起床介助・口腔ケア		朝食介助・服薬介助
8:00		掃除(居室・廊下)		
9:00			【早勤者より申し送り】	
10:00	おやつ	水分補給	バイタルチェック・水分補給	
11:00		担当居室整理・布団干し 昼食介助・服薬介助	昼食準備(30分～) 【利用者様への配膳】 尿意介助・服薬介助	
12:00	昼食	【30分間休憩】	昼食 後片付け	
13:00	【かかりつけ医往診・口腔ケア】 入浴	入浴介助(13時30分～)	【30分間休憩】	
14:00	【訪問看護】			
15:00	おやつ	浴室掃除・洗濯物洗い	水分補給 翌日分・配膳準備	夕食
16:00	【訪問マッサージ】		【夜勤者へ申し送り】 、 【30分間休憩】 洗濯 夕食準備(17時～)	【遅勤より申し送り】
17:00			【利用者様への配膳】	
18:00	夕食		夕食介助・服薬介助 夕食 後片付け 就寝介助	

• 青色部分の間接業務について依頼
(介護以外の業務)

• コロナの発生で増加した手すりや
床の消毒業務等も依頼→間接業務の増加
による品質低下の防止

• 依頼した部分に関して介護の時間
(散歩、個別ケア、研修等) に割当

2. 愛の家グループホームでの実践例（基本業務）



・ 廊下掃除
12時～12時30分
約20分



・ 手すり拭き
12時30分～12時40分
約10分



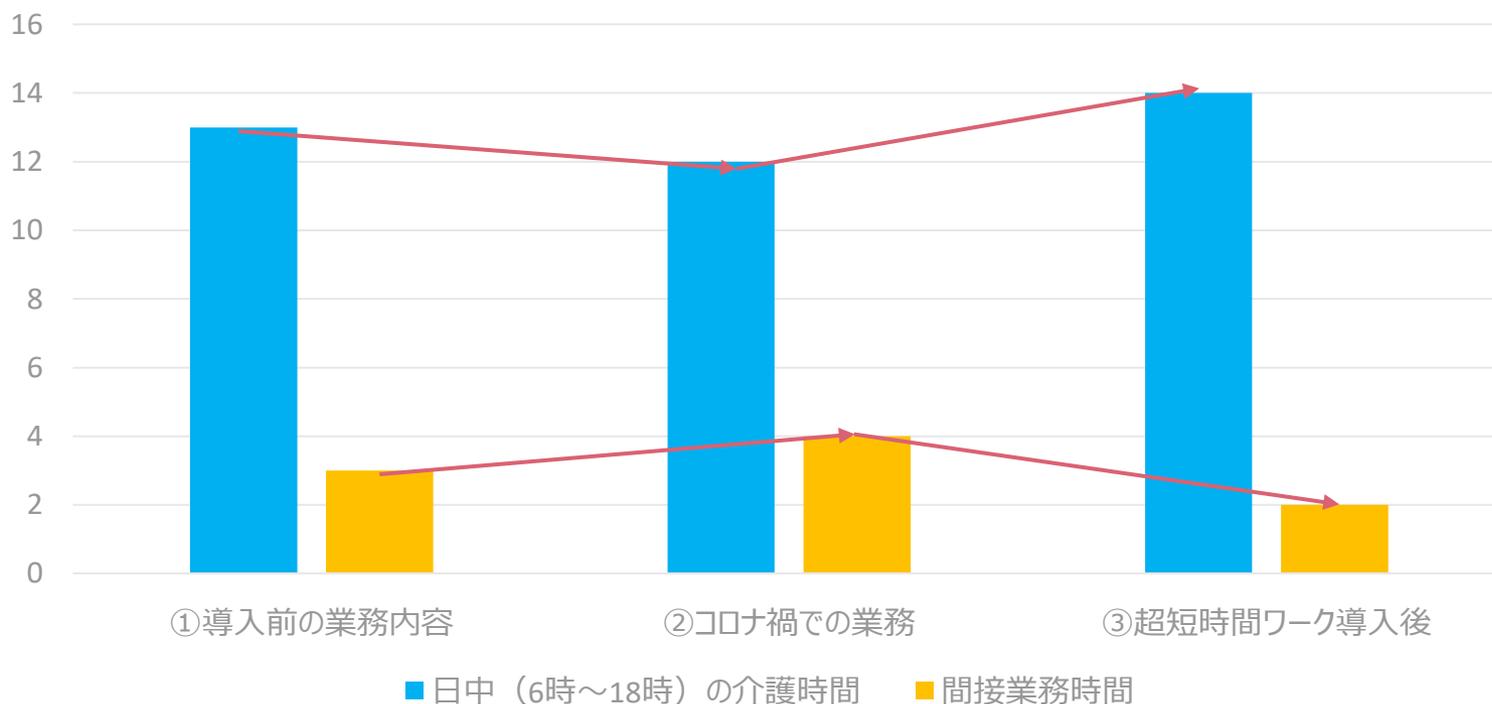
・ 風呂掃除
12時40分～13時
約20分～30分



・ 洗い物
13時～13時30分
約30分～40分程度

3. 効果検証

介護業務・間接業務時間数



②コロナ禍で増加した消毒作業により介護業務にかかる時間が減少（1h/日）

③超短時間ワークの導入により、間接業務にかかる時間数が減少（2h/日）した事により、介護に使える時間数が増加→品質の向上

4. 考察

その他、導入による効果

- ・ 休憩時間の確実な確保が出来るようになった
(業務が押ししていると休憩時間の減少があった)
- ・ 業務の縮小により、スタッフの気持ちに余裕が出た

今後の展開

- ・ 対象者の成長に伴い、新しい業務を依頼する
草抜きや敷地内清掃等、普段介護スタッフが時間をかけにくい業務を依頼予定
- ・ 趣味のギター演奏等、個性を活かした活動を取り入れつつ業務のマンネリ化を
予防する

障がいの有る方たちの働き場所になるといった福祉的な側面だけでなく、生産性の有る重要な仕事にする事が重要と考えています。

認知症を
超える。

Gakken Group

MCS Medical Care Service

認知症を
超える。